

## SUMCOにおける技術開発と知財活動

池田直紀\*



### 1. はじめに

株式会社SUMCOは住友と三菱の半導体シリコンウェーハ事業を統合して1999年7月に創業された古くて新しい会社です。世界シェアは約3割、海外売上比率8割弱のシリコンウェーハ専門メーカーです。シリコンウェーハは、日常生活で目にすることはありませんが、私たちの暮らしを豊かにするあらゆる電子機器に搭載されているIC（LSI）チップの製造に欠かせない出発材料で、実は生活に欠かすことができない製品です。様々な技術革新が電子機器を進化させ、私たちの暮らしを豊かに便利にし、社会を進化させていますが、その進化にはシリコンウェーハの技術革新が必要で、その技術革新に挑戦し続ける企業、それがSUMCOです。

### 2. SUMCOグループのビジョンと開発戦略

#### 2.1 当社を取り巻く環境

半導体産業は成長産業であり、次の進化のステージとして社会のコミュニケーションのあり方などが大きく変わる第5世代移動通信システム（5G）の時代が到来しています。その実現のために欠かせないのが、大容量・超高速の情報伝送を担うロジック、メモリー向け300mmシリコンウェーハの技術です。例えば、スマホは新たなIC（LSI）チップを搭載した5G専用端末に変わり、また、様々な領域において5G需要が飛躍的に成長することが予想されます。このようなトレンドの中、ロジック向けの最先端シリコンウェーハの一部では、当社がシェア100%近くを獲得しているように、この新たな需要拡大の機会を確実にとらえていきたいと考えています。

#### 2.2 SUMCOビジョン

当社がビジョンとして掲げているのは、（1）技術で世界一の会社、（2）景気下降局面でも赤字にならない会社、（3）従業員が生き活きとした利益マインドの高い会社、（4）海外市場に強い会社、です。着実に一步一步実行することで、エクセレントカンパニーになれるように従業員全員がビジョンの追及に邁進しています。

#### 2.3 当社の開発戦略

「技術で世界一の会社」を掲げる当社は、従業員一丸となった不断の努力、そして関係するサプラ

\* 株式会社SUMCO 執行役員 技術本部副本部長 Naoki IKEDA

イヤー様のご協力などによって、最先端製品の世界シェアで業界トップという地位を確立しました。しかし、技術開発に終点はありませんので、高い顧客満足度を得ることで、共同開発／ファーストコールを受けられる会社となり、次世代ニーズを先取りした開発をこれからも推進していきます。また、開発の源泉である人財に継続的に投資し、キャリア形成プログラムの充実を図っています。学会などでの研究発表、論文投稿、そして、国内外の大学、研究機関との交流・ディスカッション、派遣・留学等の多彩な活動を会社としても支援しています。

### 3. 当社の知的財産活動

当社グループにおいては、知的財産を重視し事業の戦略的ツールとして活用するとともに、第三者の知的財産権を尊重することを基本方針としています。この基本方針のもと、知的財産の取得、維持、秘匿、活用、および侵害の予防について「SUMCO行動憲章」および「知的財産規定」に定め、知的財産部を中心に様々な活動を行っています。

当社は統合前の会社から引き継ぎ、さらに新会社発足後に得た、多くの技術及び人財を保有していて、それらが知的財産の源泉となっています。その豊富な源泉を有効に活用するために最も重要なのはコミュニケーションであると考え、誰もが気軽に知的財産部に様々なことを相談できる風土の醸成に努めています。また階層別の知財教育のほか、若手社員に特化した特許出願・権利化サポート制度の創設や、従来からの報奨制度に加えて2019年度から始めた発明者表彰制度等、誰もが持っているポテンシャル、モチベーションを高める制度の充実も継続的に図っています。

前述のように当社の製品は半導体産業の根源であり、社会インフラを支える材料であるため、お客様に安定して当社製品をお届けすることが使命です。その事業を守るツールとしての知的財産の構築は当社の土台であり、今後も変わらないと考えています。そのために特許出願に加え、自社の技術やノウハウがいつから存在したかを証明するための仕組みも作り上げ、たとえ特許として出願されなくても技術が守られるようにしています。

一方で、早い技術革新の中、そのサイクルを不断に回していくために、知的財産部門に要求される業務範囲はこれまでにないものとなってきています。また海外売上比率が高いことから、グローバル化への対応もさらに強化していく必要があります。そのような環境に向けた知的財産活動の体制作りを一步一步確実に進めています。

### 4. おわりに

事業戦略、技術開発戦略、そしてこれらと三位一体の知的財産活動について述べさせていただきました。これからも知的財産活動は事業、技術の土台と考えて推進し、「技術で世界一の会社」としての社会への貢献、そして従業員全員が会社に愛情を持ち、会社を誇りに思うエクセレントカンパニーを目指していきます。